

令和6年度第1回別府市総合教育会議議事録

1 日 時 令和6年5月29日(水) 開会 午前10時30分

2 場 所 別府市レセプションホール

3 出席者

(構成員)	別府市長	長野 恭紘
	教育長	寺岡 悌二
	教育委員	福島 知克(教育長職務代理者)
	教育委員	山本 隆正
	教育委員	新谷 なをみ
	教育委員	松浦 倫
	教育委員	田中 淳子
(事務局)	総務部長	竹元 徹
	総務部次長兼総務課長	行部 さと子
	総務課長補佐兼政策法務係長	藤内 洋一
	総務課主査	伊藤 陽
	総務課主事	甲斐 大地
	教育部長	矢野 義知
	教育部次長兼教育施設整備室長	稲尾 隆
	教育政策課長	森本 悦子
	教育政策課参事	時松 哲也
	教育政策課教育政策係長	加藤 雄海
	教育政策課指導主事	佐藤 元昭
	学校教育課長	宮川 久寿
	学校教育課参事(共生社会実現・部落差別解消推進課参事併任)	種村 由加
	学校教育課参事	藤内 護
	学校教育課参事兼教育相談センター所長	吉武 功二
	社会教育課長兼美術館長兼少年自然の家「おじか」所長	姫野 淳子
	社会教育課参事兼図書館長	西澤 和江
(オブザーバー)	中学校長会長 朝日中学校校長	亀川 義徳
	小学校長会長 朝日小学校校長	新原 克哉

4 議 事

- (1) 議題 第3期別府市教育大綱策定に向けて
- (2) 目的 第3期別府市教育大綱の基本理念について意見交換
- (3) 経過

ア 別府市総合教育会議運営要綱第3条により市長が議長として会議の議事進行を行い、事務局から、第3期別府市教育大綱策定に向けて、基本方針からつながる「学びの姿」について説明が行われた。

イ 第3期別府市教育大綱の「学びの姿」について、委員から意見があった。主な意見は以下のとおり。

- 先生方や子ども達に示すには活字がたくさんあって分かりにくい。アクションプランの最初に、生きる力とは明るく楽しい力のことで、仲間づくりのためにプランがあるという文章を書く readability 読みやすくなるのでは。
- 学びが「キツく、大変なものである」というイメージを払拭し、楽しいものにしたい。学びの質を向上させること、面白い授業・学びを目指すという着眼点から文言を盛り込めばよいと思った。
- 現場の教員が一番見たいところはアクションプランだと思う。具体性がプランになれば、学校は変わらないし、子ども達の学びも変わらないのではないか。子どもの学び、教員の教え方に繋がるように具体的に示すことが一番効果があると思う。
- 市長が色々な施策と一緒に考えて予算を取ってくれるようになり、体育館への冷暖房の設置など、今までできなかったことができるようになった。すごく良い方向に向かっていると思う。
- 授業準備には多くの時間が必要なので、教員の待遇改善もキーワードとして入れて欲しい。
- 別府学に子ども達の学びが繋がっていくと、大人になっても別府に残り、これからの別府を担っていく人たちが増えるのではないか。総合的な学習とALTの外国活動を掛け合わせて、地域や別府市を案内する子どもガイドを認定したりと、別府学が更に盛り上がるような活動ができればと考えている。
- 現場にいる先生が自分に落とし込んで授業にしていけるためには、アクションプランにつながる事が大事だと思った。基本方針の3の豊かさとは、具体的に何なのかをはっきりとさせていく必要がある。
- R6 アクションプランにある「質の高い幼稚園教育の推進」の、質の高いという意味がよく分からなかったので、R7のプランには分かりやすい入りの説明があれば良いと思う。
- 書いてある言葉の一つ一つの意味を教職員がしっかりと理解し、授業の中で展開できるようなシステムづくりが今後残された課題だと思う。
- 基本方針1のグローバル社会における充実した学びの部分について、「外国

の言語や文化“を”体験等“を”通し理解し、」となっており、“を”が二回で分かりにくいので、修正をお願いしたい。

- 自然体験活動の推進だけでなく、色々な体験活動を盛り込んで欲しい。農業体験活動を通しての食育や、科学館や博物館の代わりになるような体験活動を新図書館で開催する等、分野毎でのフィールドワークを進めることで、別府市内の職業・就職を意識した学びが深まるのではと感じた。
- 面白い・楽しい・ためになる学校をテーマにして、別府らしさの教育に繋がらなければいけない。悩んでいる子ども達の居場所となるよう、学校の在り方を改めて考えていかなければならないと感じた。
- 元教員の保護司と現教員で面談をしてみると良いのではないか。
- 学びの姿に今までと同じアクションプランを紐付けても創造性がない。将来から逆算して今何をしなければならないのかを考え、創造的な破壊を行って欲しい。
- 幼児教育がとても大事だと思う。幼児教育の頃から手厚いサポートを行い、幸せな子ども達を増やしていくことができればと思う。

(4) その他決定事項

事務局から、第3期教育大綱に関する審議を最終とし、最終案を取りまとめて策定の手続を進めることを確認して本会議は終了した。